

去る7月31日、神原末一先輩(55回生)がご逝去なさいました。享年95歳

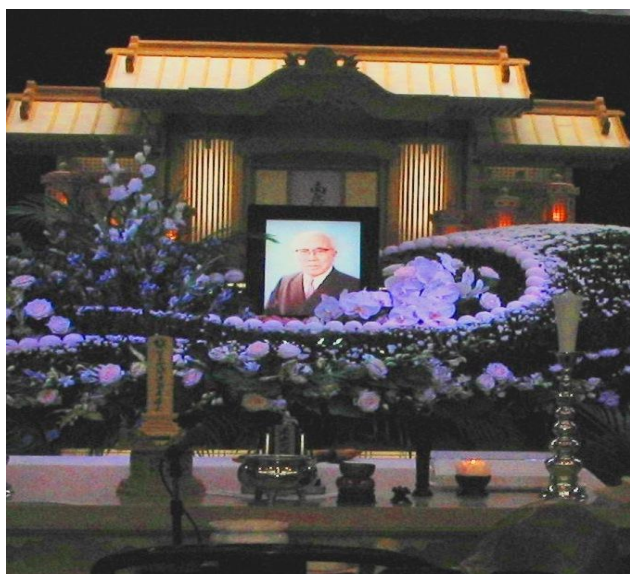
ここに生前のご功績に深く感謝申し上げ、謹んでお悔やみを申し上げます。

本年母校は新県商が復活して50年の記念すべき年に当たり、秋には記念祝賀会を計画しており、その席上、新県商の復活にご尽力願った当時の理事の内、唯一ご存命の神原先輩に是非感謝状を贈呈したく準備を進めている最中、この訃報の連絡を受け残念でなりません。

神原先輩と最後にお会いしたのは今年の4月22日、同窓会館での会報134号の封入作業の時でした。終始嬉しそうにニコッと笑って「有難う、有難う」とおっしゃったあの顔、あの声、感謝のお心で満ち溢れたあのお姿を今も忘れることは出来ません。

8月2日通夜式、8月3日告別式がしめやかに執り行われ同窓会からは石破理事長をはじめ井上、坂口、大野副理事長が参列し、参列者を代表して石破理事長が弔辞を読み上げお別れいたしました。神原先輩のご冥福を心よりお祈りいたします。

記 大野美代子(85回生、副理事長)



弔 辞

かんばら

神原先輩・・・先輩の愛して止まぬ母校の県商・・・兵庫県立神戸商業高等学校は今年10月6日・・・創立135周年と戦後幾多の曲折を乗り越え昭和37年4月復活創立されて半世紀・50周年を迎える新県商の祝賀式典を行うことで準備を進めており、この記念すべき式典ならびに祝宴には神商同窓会最長老としてご臨席頂くことを望んでおりましたが、この度、突然の訃報に接し叶わぬこととなりました。特に新県商復活にあたり先輩には多年にわたり公私を越えたご尽力を賜わり感謝してもしきれぬ思いを抱いており、誠に残念なことでございます。謹んでお悔やみを申し上げます。

先輩は昭和11年3月、県商をご卒業後、県商で学ばれた英語、中国語のみならず、更には大阪外国語学校フランス語科を目指され、たぐいまれなる記憶力とご努力によりたちまち習得され、更には多彩なご経験により十ヶ国語以上の言葉を習得駆使され、また、神戸の生んだ偉大なる作家陳舜臣さん、国民的大作家司馬遼太郎さんともご親交を結ばれておられたとお聞きしておりました。

戦時下では、国家の要員として東南アジア各国や中国に於いてご活躍、昭和22年無事ご帰国後は甲南大学、神戸女子大、兵庫女子短大等の教育界に於いて英語・フランス語など言語学をお教えになられ、平成6年以降は言語評論家として全国を行脚し講演回数一万回を超すご活躍をされ、更には、多数の著書を刊行されるなどまさに超人的な業績をお残しになられました。

わが神商同窓会の誇るべき偉大なる先輩・・・また、同窓会副理事長として数々の有益なご助言・ご指導に預かり今日の繁栄の基礎を築きあげて頂きました。かんばら神原先輩・・・誠に有難うございました。先輩のご遺訓を守り神商同窓会をますます発展させることをここにお誓い申し上げます。

本日、これにてお別れすることは誠に辛い思いですが、ゆっくりとお休みになられますことをお祈りしつつ、同窓会を代表しこれをもってお別れの言葉とさせていただきます。

かんばら

神原先輩・・・さようなら

こと は

言の葉の命は尽きず蝉しぐれ

利久

平成24年8月3日

財団法人 神商同窓会

理事長 石破 利久

